

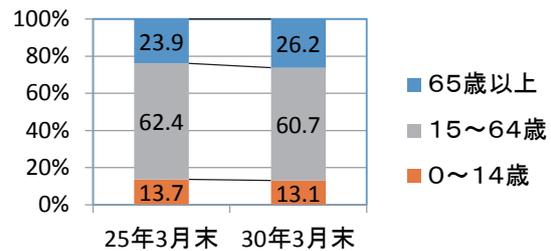
久代小地区福祉委員会 第4次地区福祉計画

地区の特徴

川西市の最も南に位置し大阪空港からの飛行ルートの直下です。地域は住宅、工場、田畑が混在していますが、大阪、神戸への交通の利便性でマンション、一戸建ての新築が増加しています。地区に県立西猪名公園があり春のお花見、夏のウォーターランド、また運動施設もあり多くの人で賑わいます。福祉活動では「ふれあい」「見守り」「支え合い」活動を通じて住民の皆様と共に、安全、安心のあかるいまちづくりに取り組んでいます。

久代小地区の人口、世帯数、高齢化率推移

	平成25年3月31日現在	平成30年3月31日現在
● 人口	8,925人	9,022人
● 世帯数	3,901世帯	4,057世帯
● 高齢化率	23.9%	26.2%



福祉目標

こんにちは 笑顔で声かけ やさしい久代。

地区の重点事業

- 重点1 福祉活動を担う人材確保と育成
- 重点2 地域の居場所づくり
- 重点3 交流事業の充実

地区別ワークショップでの意見

- ◇子育て支援の場に出てこられない親子への支援
- ◇地域福祉活動理解の促進
- ◇自治会活動への不参加・近所付き合いが希薄
- ◇障がい者への理解、交流の場づくり
- ◇各行事参加への問題(参加者の偏り・移動手段の確保・地形の関係で参加が難しいなど)
- ◇情報の収集、発信体制の強化

第3次地区福祉計画からの課題 (25年度~29年度)

- ◇福祉活動を担う人材も高齢化になり対策が必要
- ◇福祉活動に関心をもっといただくよう広報の強化
- ◇コミュニティとの情報交換を活発にしていきたい
- ◇ふれあいカフェ「くしろ」は交流の場として定着してきた
- ◇ボランティア・福祉委員募集の仕方の検討をする
- ◇障がいのある方との交流事業の進め方の検討

現在の地区の取り組み

ふれあいひろば久代・ふれあいサロン(合同)・福祉講座・福祉ネットワーク会議・福祉健康講座・ふれあいカフェくしろ・健康体操支援
障がいのある方との交流・避難行動要支援者支援活動・福祉委員会広報紙発行・にこにこ会ボランティア会活動・キャラバンメイト活動
介護予防教室・「みるく」「おうまのおやこ」支援・各自治会餅つき・部会活動・福祉委員研修会・三世代交流事業・寝たきりの方お見舞い



ふれあいひろばくしろ



福祉ネットワーク会議



ふれあいサロン

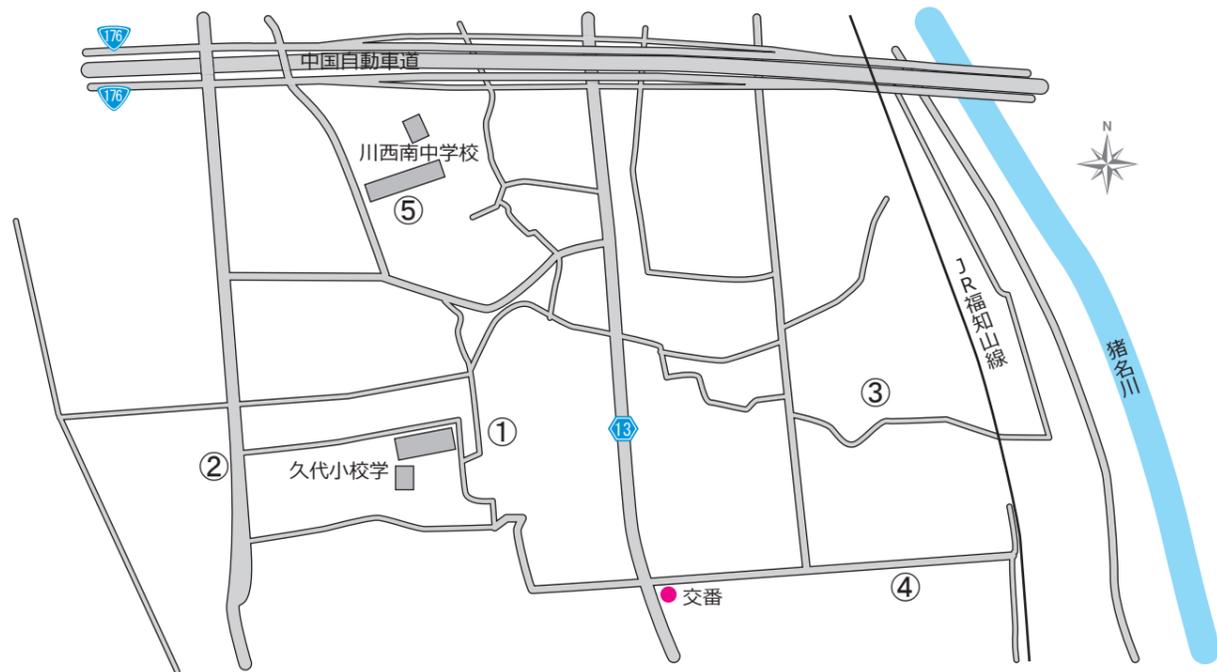


福祉健康講座



ふれあいカフェ久代

つながりMAP



- ①久代会館：◎ふれあいカフェ久代・◎ふれあいひろばくしろ・□子育てひろば「みるく」「おうまのおやこ」・♡にこにこ会
・その他：福祉講座、福祉健康講座、健康体操、福祉ネットワーク会議、キャラバンメイト活動
②西久代会館：◎ふれあいひろばくしろ・その他：介護予防教室
③東久代会館：◎ふれあいひろばくしろ・その他：介護予防教室、健康体操
④エンゼルハイムふれあい会館：◎ふれあいひろばくしろ・その他：介護予防教室
⑤川西南公民館：◎ふれあいサロン
- 備考：◎居場所、□子育てひろば、
○相談窓口、♡ボランティア

久代小地区の自治会

- ・久代新生会 ・北久代 ・久代 ・久代団地 ・撰代 ・エンゼルハイム
・東久代1丁目三葉会 ・東久代むつみ ・東久代西町 ・高芝 ・シーパーク北伊丹



重点 1

福祉活動を担う人材確保と育成



目的

福祉委員だけではなく、幅広い世代の人材を確保することで、誰もが身近に「福祉」を捉え、まちづくりを推進する。

具体的取り組み

- ▶ 市社協と連携した福祉講座や研修会の開催をすすめていく。
 - ① 若い世代や団塊の世代を対象とした福祉活動へのきっかけづくり講座を開催する。
 - ② 福祉委員活動の理解が深まるように、新任福祉委員研修会を定期的で開催する。
- ▶ 福祉委員の強化、増員をはかる。
 - ① 福祉委員や、ボランティア募集の呼びかけを推進する。
 - ② 自治会活動等で協力的な人には個別で声をかける。
- ▶ 福祉委員会の活動を住民にアピールしていく。
 - ① 広報掲示板等を活用した啓発活動を推進する。

重点 2

地域の居場所づくり

目的

子育て世代 高齢者 障がいのある方など誰でもが気兼ねなく立ち寄れる居場所があることで孤立せず安心して過ごせる環境づくりを目指す。

具体的取り組み

- ▶ 地域の会館での福祉活動
 - ① 久代会館 西久代会館 東久代会館 エンゼルハイム会館での福祉活動を強化するため各会館の整備と利用しやすい環境をつくる。
 - ② 各自治会館での居場所づくりを推進する。



目的

今あるつながりは より大切に また新たな触れ合いにより絆をひろめ 皆が顔見知りのように 声かけしやすいまちづくりを目指す。

具体的取り組み

- ▶ 地域住民と障がいのある方との交流機会の確保
 - ① 障がいに対して正しく理解するため勉強会や福祉講座を開催する。
 - ② 障がいに対する啓発活動の実施。
- ▶ 世代交流事業を推進する。
 - ① 土日祝の開催で働く世代や子育て世代の父親も参加できるようにする。
 - ② 自治会館を利用して子育て・高齢者・障がいのある方との交流事業を開催する。
- ▶ 自治会との連携
 - ① 自治会同士の情報交換を定期的に行うことができるようにする。
 - ② コミュニティと福祉委員の情報交換を定期的に行う。
- ▶ 住民相互のつながりづくり
 - ① 福祉ネットワーク会議などで 子育て・高齢者・障害のある方の意見交換により それぞれの理解を深めていけるようにする。
 - ② 広報掲示板等を活用しボランティアグループの啓発活動を推進する。
 - ③ 新たな助け合いグループづくりを推進する。

久代小地区 地区別ワークショップ及び検討会議

日 程	内 容
▶ 平成29年 7月 3日	ワークショップ 開催
▶ 平成29年 12月 21日	策定委員会 開催
▶ 平成30年 1月 11日	策定委員会 開催
▶ 平成30年 2月 1日	策定委員会 開催
▶ 平成30年 2月 11日	策定委員会 開催

□策定委員

高木清美、 荻野美奈子、 越智武司、 佐々木順子、 本田美代子
戸川ひろ子、 地頭所久恵、 木部美代子、 中村愛子

事業名	区分	内 容
	新規・重点	内容、回数、定期開催の場合は曜日
ふれあいひろば久代	重点	お茶会(健康体操や歌など)・民生児童委員の相談窓口。毎月水曜日開催。西久代会館(第1)、久代会館(第2)、東久代会館(第3)、エンゼルハイムふれあい会館(第4)
ふれあいサロン(合同)	重点	年1回地域のひとり暮らしの65歳以上の方対象に開催。懇談・会食・余興・ビンゴなどで楽しく過ごしていただく。
福祉バザー	継続	川西南部どんと祭り会場で開催(自主財源)
福祉講座	拡充	福祉意識の向上 人材育成につなげていく。
福祉ネットワーク会議	拡充	住民の福祉ニーズの把握。情報交換等
福祉健康講座	継続	高齢者などの健康につながる講座
ふれあいカフェ「くしろ」	拡充	毎月木曜日13:30~15:30 久代会館 地域の方の居場所づくりとして平成28年オープン
障がいのある方との交流	重点	現状把握と福祉委員の勉強会・認識の共有など
避難行動要支援者支援活動	継続	災害時安否確認支援(コミュニティと連携)
福祉委員会広報紙発行	拡充	福祉活動の紹介・報告 年1回3000枚印刷
生活・社会参加支援活動	重点	にこにこ会によるボランティア活動 毎月第1木曜日定例会
キャラバンメイト活動支援	継続	認知症サポート養成講座開催など
健康体操支援	継続	毎月第2・4木曜日13:30~東久代会館 毎月第2・4火曜日13:30~久代会館
介護予防教室	継続	いきいき元気倶楽部(川西南地域包括支援センターを中心に実施)
子育て支援「みるく」	継続	毎月第2・4金曜日10:00~11:30久代会館。0歳~1歳半の子どもとその保護者対象 親子体操や絵本の読み聞かせなど
子育て支援「おうまのおやこ」	継続	毎月第4金曜日10:00~12:00久代会館。未就園児とその保護者対象。子育て講話と茶話会など
自治会餅つき支援	継続	各自治会での餅つきなどで地域住民の交流をはかる。
部会活動助成	重点	各自治会でひとり暮らしの高齢者との交流会を開催する。
寝たきり老人お見舞い	継続	年1回民生児童委員が家庭訪問し見舞品を贈る。
福祉委員研修会	継続	福祉委員の資質向上をはかる。
三世代交流事業	重点	久代小ジョイフルクラブ餅つき大会での交流の場づくり